



図書館だより

7月



NO.4

2011/07/01

ノートルダム学院小学校図書館



文月ふみの日ー7月23日ー

”電話のすぐあとで手紙が着いた
あなたは電話ではふざけていて
手紙では生真面目だった”



これは谷川俊太郎の詩「手紙」の一連です。だれかに思いを伝える時、みなさんはどんな方法を使いますか。メールだったらすぐに思いが伝えられてとても便利です。でも文字には思いが残ります。選んだ便せん、ペンの色…。その時の気持ちが読む人の心にしみこみます。年を経て読み返したり…。
毎月23日は「ふ(2)み(3)の日」となっていますが、7月は「文月」であることから、郵政省では1979年から、特別に「文月のふみの日」とし、記念切手を発売するなどして手紙を書くことを呼びかけています。長い夏休みは、手紙を書くチャンスでもあります。



第57回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

小学生低学年の部(1,2年生)

「ものすごくおきなプリンのおうで」二宮由紀子 (教育画劇)

「がっこうかっぱのイケノオイ」山本悦子 (童心社)

「アクリイにおまかせ」竹下文子 (小峰書店)

「エディのやさいばたけ」サラガーランド (福音館書店)

小学生中学年の部(3,4年生)

「ヤマトジミの食卓」吉田道子 (くもん出版)

「わたしのとくべつな場所」パトリシア・マキサク (新日本出版)

「忘れないよ リトルジョッシュ」マイケル・モーパーゴ (文健出版)

「ホスピタルクラウン・Kちゃんが行く:笑って病気をぶっとばせ!」あんずゆき

小学生高学年の部(5,6年生)

「こども電車」岡田潤 (金の星社)

「天風(てんかぜ)の吹くとき」福明子 (国土社)

「犬どろぼう完全計画」バーバラ・オコーナー (文溪堂)

「クジラと海とぼく」水口博也 (アリス館)

☆手紙の出てる本

- ・魔女からの手紙
角野栄子・ポプラ社
- ・こっそりおてがみ
内田麟太郎・草土文化
- ・そよかぜの手紙
立原えりか・ひぐま出版
- ・かみさまへのてがみ
谷川俊太郎 サンリオ
- ・魔女スピカからの手紙
あんひるやすこ・岩崎出版
- ・過去からの手紙
岸田るり子・理論社
- ・読まれなかった手紙
杉田秀子・くもん出版
- ・アウシュビッツからの手紙
早乙女勝元・日本図書センター



”読んで世界を広げる・書いて世界をつくる”夏に会う一冊はとても印象的。じっくり腰をすえて読み切った時、どんな思いがわきあがるでしょうか。感じたこと、考えたこと、調べたことなどを書いてみましょう。

夏休み前の図書の貸し出しは7月15日(金)まで

借りた本は必ず 7月21日(木)までに返しましょう。